学校図書館だより10月

令和8年　10月16日
荒川区立第三中学校
校長　　下斗米八穂
学校司書　守屋絢子

「味見読書」を行いました！

2年生の国語の授業で「味見読書」を行いました。「味見読書」とは、料理の味見をするように、複数の本を数分ずつの短い時間で少しずつ試し読みしていく読書活動のことです。 今回の味見読書で特に人気が高かった本を数冊紹介します。

『へんな学部』



西岡壱誠著 ／ 笠間書院

恐竜、マンガ、コスメ、航空、…。令和日本に実在する15のユニークな学部・学科を、学長や教授、在学生へのインタビューも交え、紹介。

『さみしい夜にはペンを持て』



古賀史健著 ／ ポプラ社

自分のことが大嫌いなタコジロー。ある日、不思議なヤドカリおじさんが、ひとりの夜をどう過ごせばいいのかを教えてくれて…。

『たぶん、ぼくのジャム』



金子学著／ 主婦と生活社

「本」と「コント」が合体したらどうなる？プロのコント師にしか描けない「爆笑の5分間」を詰め込んだ、前代未聞の短編“笑”説集！

『推し言葉類語辞典』



山口謡司監修／笠倉出版社

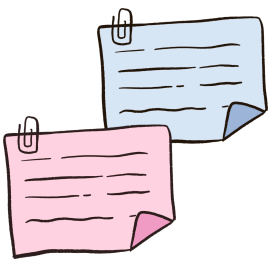
大好き、ヤバい、すごいしか出てこない語彙力を変える! 自分ならではの「好き」の伝え方、そのための言葉を発見するための辞典。

味見読書の感想

・普段読まないジャンルの本を読めた。　・図書館にこんな本があることを知らなかった
・5分間があっという間だった　・自分は物語より随筆が好きだと気付いた　などなど

「家読アンケート」のご協力ありがとうございました

荒川区は、「読書を愛するまち・あらかわ」宣言に基づき、家族で読書を楽しむ「家読」の推進を重点事業として取り組んでいます。三中では、夏休みの宿題として、お家の人とおすすめの本を紹介し合う「家読アンケート」を行いました。10月中は図書館廊下に掲示しています。ぜひ皆さんのおすすめ本を手に取ってみてください。



新しく入る本

読書の秋！学校図書館では新着本を
たくさん用意してお待ちしております。

本のタイトル	著者	出版社	おすすめポイント
『和のなるほど図鑑』	みっけ	インプレス	「花の雨」「翠玉」ってどんな意味？日本語、文様・伝統色、などを様々なモチーフと組み合わせて解説する。
『このオムライスに、付加価値をつけてください』	垣内尚文	ポプラ社	ハワイでダウンを売る方法は？20段の階段を上りたくなる理由とは？ 様々な「付加価値」のつくり方をわかりやすく学ぶ。
『半径5メートルの世界史』	歴史雑記 ヒストリカ	産業編集 センター	窓ガラスは1世紀のローマ帝国で初めて作られた？フランス革命期の1日は10時間だった？日常のモノたちから世界の歴史をひもとく。
『#台所のあるところ』	原田ひ香	文藝春秋	直木賞候補作。深夜のTVドラマ「台所のあるところ」を視聴している、6人の女性が主人公の連作短編集。
『アリアドネの声』	井上真疑	幻冬舎	巨大地震発生。地下に取り残されたのは、目が見えず、耳も聞こえない女性だった。ドローンを使った救出作戦の結末は？
『小説 税金で買った本』	ずいの	講談社	図書館の仕事がよく分かる！ドラマ化もした人気お仕事漫画のノベライズ版。登場人物名は実在の作家の名前が由来になっています。
『逆転監督森保一』	木崎伸也	文藝春秋	やんちゃな非エリート選手から勝率最高のサッカー日本代表監督へ。森保一のルーツを徹底的に探る。
『友達以上恋人未満の人工知能』	川原繁人	KADOKAWA	AIと人間の“会話”はどこまで本物か？AIに関する疑問に向き合い、健全に付き合うために考えたことを、会話劇の形式で紹介する。

お知らせ

貸出冊数

9月の三中生の貸出は

282冊

展示コーナー

10月のテーマ

家読アンケート

新着本はタブレットからも検索できます。

